

4/1 未確認

反戦デモ 安保法制発動対象

官房長官「誤解招いた」

松野博一(官房長官)は31日の記者会見で、防衛省陸上幕僚監部が2月に配布した記者向け説明資料の中、「反戦デモ」を避けた記述があったことは誤解を招く表現だった」と釈明しました。資料は3月30日付で、日本共産党的な発言に対する問題について、「合法的に行われている場合もある、一様に」という表現が問題視されたことに対象である「グレーゾーン事態」の例として記述されたとされています。

で、日本共産党的な発言に対する問題について、「合法的に行われている場合もある、一様に」という表現が問題視されたことに対象である「グレーゾーン事態」の例として記述されたとされています。松野氏は「この文書の保存期間は本来1年とすべきものだつた」と指摘。配布直後に廃棄されたと推定されると説明し、こうした防衛省の対応は「行き過ぎた」と述べました。

政文書の管理に関するガイドラインの規定に照らし合わせれば不適切だった」と述べました。